

**望遠ズームレンズ“RF70-200mm F4 L IS USM”を発売  
世界最短・最軽量ボディとズーム全域での高画質を両立**

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、プロ・ハイアマチュアユーザー向けの望遠ズームレンズ“RF70-200mm F4 L IS USM”を **2021年3月上旬**に発売します。



RF70-200mm F4 L IS USM

“RF70-200mm F4 L IS USM”は、風景やスポーツ、ポートレートなど幅広い撮影に適した焦点距離を備え、描写性能や操作性、堅牢（けんろう）性などで最高水準の性能を追求した「L (Luxury)」レンズです。ズーム全域で開放 F 値 4 の高画質と機動性を両立した RF レンズをラインアップに加えることで、ユーザーの多様なニーズに応えます。

**■ 世界最短・最軽量<sup>※1</sup>の実現による機動性の向上**

「RF マウント」ならではの大口徑・ショートバックフォーカス<sup>※2</sup>を生かし、カメラ側の撮像面近くに大口徑レンズを配置して光学系を小型化しています。さらに、全長が変わるズームタイプの採用とメカ部材やレンズの効果的な配置等により、「EF70-200mm F4L IS II USM」（2018年6月発売）と比較して、高画質を維持しながらも、大幅な小型・軽量化を実現しています。

**■ 小型化と同時に全ズーム領域での高画質を実現**

「UD レンズ<sup>※3</sup>」4枚を含む11群16枚の光学設計により、色にじみの原因となる色収差などを画面中心部から周辺部まで低減し、焦点距離70mmから200mmのズーム全域で高画質を実現しています。さらに、フォーカスレンズとフローティングレンズ<sup>※4</sup>の2つのレンズ群を、2つの超音波モーター「ナノ USM」で個別に駆動して制御する、電子式フローティングフォーカス制御の採用により、近距離撮影時の画質を向上させ、ズーム全域で最短撮影距離0.6mを実現しています。

**■ シャッタースピード換算で7.5段の手ブレ補正**

ボディ内手ブレ補正機構を搭載している機種<sup>※5</sup>との組み合わせで、カメラとレンズによる協調制御を実現します。「EOS R5」装着時は、7.5段<sup>※6</sup>の手ブレ補正が可能です。また、ボディ内手ブレ補正機構を搭載していない「EOS R」（2018年10月発売）装着時も5.0段<sup>※6</sup>の手ブレ補正が可能です。

製品名	希望小売価格	発売日
RF70-200mm F4 L IS USM	オープン価格	<b>2021年3月上旬</b>

※1 レンズ交換式カメラ用焦点距離70-200mm、開放F値4のレンズとして。世界最短はレンズ収納時。2020年11月3日現在。キヤノン調べ。

※2 最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。

※3 「UD (Ultra low Dispersion=特殊低分散) ガラス」を用いたレンズ。

※4 撮影距離に応じて、レンズを動かすことで収差を補正するレンズ。

※5 「EOS R5」（2020年7月発売）、「EOS R6」（2020年8月発売）。2020年11月4日現在。

※6 焦点距離200mm時。CIPA規格に準拠。Yaw/Pitch方向。

※ 赤字部分は2020年12月17日修正。

## <主な特長>

### 1. 世界最短・最軽量の実現による機動性の向上

- ・「RF マウント」の大口径・ショートバックフォーカスを生かした、カメラ側の撮像面近くへの大口径レンズの配置と、全長が変わるズームタイプの採用、メカ部材・レンズの効果的な配置、2つのナノ USM を用いた電子式フローティングフォーカス制御の採用により、光学系の小型化を実現。これらにより、レンズ交換式カメラ用焦点距離 70-200mm、開放 F 値 4 のレンズとして、世界最短・最軽量を実現。
- ・「EF70-200mm F4L IS II USM」と比較して、全長を約 176mm から約 119mm へ約 32%短縮。さらに質量は約 780g から約 695g（三脚座別）へ約 11%軽量化。持ち運びや撮影時の負担を軽減。
- ・カメラボディ側に多くのレンズを配置することで、重心が手元側に寄り、鏡筒が伸びる望遠撮影においても、良好なホールディングバランスで撮影することが可能。

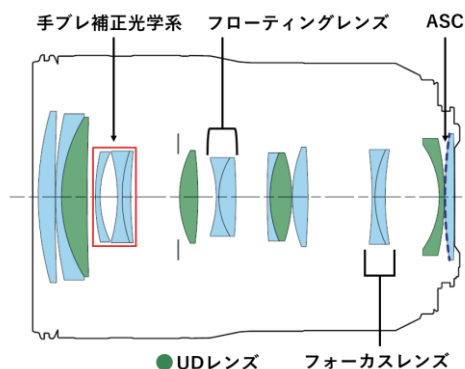


#### 全長比較イメージ

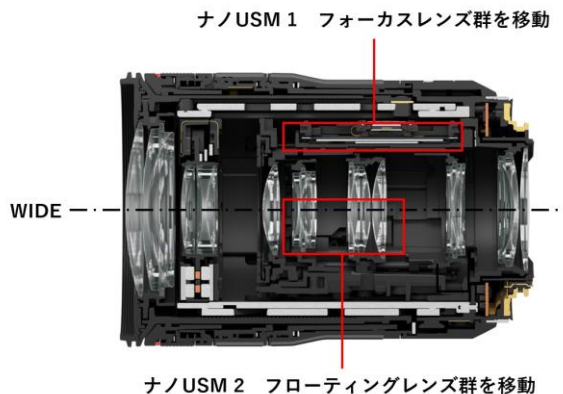
- ・EF70-200mm F4L IS II USM (左)
- ・RF70-200mm F4 L IS USM (右)

### 2. 小型化と同時に全ズーム領域での高画質を実現

- ・「RF マウント」の大口径・ショートバックフォーカスがもたらす自由度の高いレンズ設計により、高画質と小型化を両立。カメラ側の撮像面近くに大口径レンズを配置できるため、焦点距離 70-200mm のズーム全域で画面の中心部から周辺部まで高画質を実現。
- ・「UD レンズ」4 枚を含む 11 群 16 枚の光学設計により、色にじみの原因となる色収差などを画面中心部から周辺部まで低減し、焦点距離 70mm から 200mm のズーム全域で高画質を実現。
- ・露出の設定や調整において、プロやハイアマチュアユーザーから定評のあるズーム全域での開放 F 値 4 を実現。高い機動性と高画質を両立。
- ・特殊コーティング「ASC (Air Sphere Coating)」を採用。レンズ内の光の反射が撮影画像に入り込んでしまうフレアやゴーストなどの現象を低減し、さらなる高画質を実現。
- ・フォーカスレンズとフローティングレンズの 2 つのレンズ群を、2 つの超音波モーター「ナノ USM」で個別に駆動して制御する、電子式フローティングフォーカス制御を採用。柔軟な位置制御が可能となり、近距離撮影時の画質を向上させ、ズーム全域で最短撮影距離 0.6m を実現。
- ・ナノ USM により、静止画撮影時の高速 AF と動画撮影時の滑らかな AF が可能。



“RF70-200mm F4 L IS USM” (70mm 時) の光学構成図



フローティングフォーカス制御におけるナノ USM の駆動

### 3. シャッタースピード換算で 7.5 段の手ブレ補正

- ・「EOS R5」装着時は、ボディ内手ブレ補正機構との協調制御により、静止画撮影時に 7.5 段の手ブレ補正を実現。動画撮影時も高い手ブレ補正効果を発揮。
- ・ボディ内手ブレ補正機構を搭載していない「EOS R」装着時も 5.0 段の手ブレ補正を実現。
- ・被写体の動きに合わせて選択可能な、3 つの「IS モード」を搭載。ポートレートや風景など静止している被写体に適した「IS モード 1」、モータースポーツや鉄道写真などで用いる流し撮りに適した「IS モード 2」、スポーツなど不規則な動きの被写体に適した「IS モード 3」の 3 つを使い分けることが可能。



「IS モード」のスイッチ

### 4. 「L レンズ」シリーズに相応しい信頼性と操作性

- ・マウント接合部、各リング、スイッチ、鏡筒の繰り出し部などに防じん・防滴構造を採用※。
- ・鏡筒内の繰り出し部について、耐久性と対振動衝撃性に配慮した構造を採用。
- ・レンズ最前面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。レンズに付着した油分なども溶剤を使わずに乾いた布などで簡単に取り除くことが可能。
- ・太陽光に含まれる赤外線の影響を低減させた遮熱塗料を採用。屋外スポーツなどの炎天下における長時間撮影でも、レンズの温度上昇を抑制。
- ・露出補正や絞り数値などの設定を任意に割り当てて使うことができるコントロールリングを搭載。
- ・緻密なアヤメローレットが施された白のコントロールリングなど高品位なデザインを採用。

※ 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。



…防じん・防滴シーリング



コントロールリング

### <主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。